

私立短期大学図書館協議会

会報

Bulletin of Junior College Library Association

発行者：安部 登 巳
 発行所：私立短期大学図書館協議会
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-1
 文化女子大学短期大学図書館内
 電話：03-3299-2195

1998. 2 No. 42

◇平成9年度短期大学図書館全国研修会開催◇

参考業務と書誌一 講演：情報インストラクターを目指して ～新しい司書職の専門性「指導サービス」の創造～

心理学：心理学領域の道しるべ
 民俗学：民俗学一分野への関心と対応

日時 平成9年11月20日(木)～21日(金)
 会場 ホテルアウイーナ大阪
 テーマ 参考業務と書誌－心理学／民俗学
 講師 丸本郁子氏 (大阪女学院短期大学教授)
 中西龍一氏 (園田学園女子大学短期学部助教授)
 津田雄作氏 (神戸山手女子短期大学図書館)
 参加 76名
 主催 私立短期大学図書館協議会

第1日目、安部会長の開催挨拶とオリエンテーションの後、講義に入った。講義内容は、丸本郁子氏の「情報インストラクターを目指して」、中西龍一氏の「心理学領域の道しるべ」、津田雄作氏の「民俗学一分野への関心と対応」で、要旨は下記の通り。なお、各講義の詳細内容は「短期大学図書館研究18号」に掲載される。2日目、参加者は8グループに分かれ、会場に用意された各種の書誌を使って、与えられた課題を解決していく実践的な演習に取り組んだ。最後に、解答をグループごとに発表し、講師の先生方から評価、指導を受けた。

また、1日目の午後5時より、同ホテル3階「葛城の間」にて懇親会が開かれ、講師の先生方と知り合ったばかりの仲間となごやかに歓談した。

◇情報インストラクターを目指して

丸本郁子氏

1. 図書館員の専門性 図書館員の命ともいえる書誌・目録・索引等情報を探すためのツールを使いこなせる知

識が必要。そしてその専門性は、集めた情報と利用者をつ結びつけるところにある。

2. 「指導サービス」必要性の背景 (1) 生涯学習の時代で、ただ知識を与えるのではなく、学生が卒業してから新しい局面に直面したときにどう対応できるか。それを解決できる能力をつけさせることが重要。教育の重点がシフトしてきている。(2) 電子メディアが大きく発達している中、従来は情報発信者と受信者が二分化されていたのに対し、今は誰もが発信者、受信者になりえるようになったことから、得た情報の善し悪しを見分ける能力が必要になった。また情報は多くあるがそれを利用できるのは大規模な組織に限られ、情報の強者と弱者に分けられる。短大図書館は決してその弱者になってはいけない。

3. 日本の図書館界の状況 専門性の後退とアウトソーシング。最近、目録作成や装備等の業務の外注がみられるが、それがかえって図書館の人員削減の対象にされることもある。

4. JLA「図書館利用教育ガイドライン」資料を見ながらの説明。その中で利用教育の定義として「自立して図書館を含む情報環境を効果的に活用できるようにすることが挙げられていた。

5. 指導サービスの組織化・業務化 指導サービスは、大学図書館、学校図書館、公共図書館、専門図書館等の全ての館種で図書館の業務とすべきで、他の図書館団体とも関わりを持ち、大学(学校)教育への図書館の参加も必要。

6. 講義の最後に、「利用教育(中・高生用)CD-ROM」

(利用教育委員会監修)のデモが行われた。

◇心理学領域の道しるべ

中西龍一氏

1. 心理学の研究領域「心理学事典(平凡社)」、「心理学 培風館」、「日本心理学会」、「Psychological Abstracts(データベース分類)」などいろいろな方面から見た心理学の研究領域についての簡単な説明があった。
2. 心理学における、計量心理・発達心理・学習理論・認知的アプローチ・比較心理学・精神分析の6つの異なった理論が、互いに関係し合うことのないままに、個々の枠組の中で発達を遂げてきた。これが心理学の今のあり方である。
3. 心理学は非常に学際的な学問であり、またそれ自身様々な分野に分かれる。例えば心理学の中でも、臨床的な応用心理、調査的な発達心理・社会心理、実験的な基礎心理(理論研究)に分かれ、心理学との隣接領域としては、医学・精神医学、生理学、哲学、社会学、教育学、文化人類学などがある。それを踏まえて心理学関係の質問を例に挙げ、それぞれがどの分野に該当するかという説明を受けた。

◇民俗学一分野への関心と対応

津田雄作氏

1. 民俗学とは 自国一國のみの研究で、衣食住等繰り返し行われる生活事実全般にわたる。研究分野には、目による有形、耳による言語、心理等があり、隣接する諸科学として社会学、歴史学、宗教学、国語・国文学、心理学、経済学等さまざまな分野が挙げられる。そのためレファレンスの際には、これらの分野からもアクセスが必要。
2. 民俗学に関する質問とその対応 回答として図や写真、音声、映像等が必要なことが多いのも民俗学の特徴の一つ。また目次、凡例、付録、参考文献を見ることを知らない学生が意外に多いので、その指導も必要。その他、ツールとしての参考図書、書誌類やCD-ROMの紹介があり、博物館等関連施設の活用についての話があった。
3. レファレンスの重要点 ①「ヒヤリング」－質問者が何を調べているのか、何を知りたいのか、はつきり聞く。質問をよく理解する。②「資料への関心・知識」－苦手意識を無くす。質問者が意欲の湧くようなレファレンスをする。③「事例記録」－忘れる恐れもあるので、レファレンスの記録をとる。同じような質問が出たときにも役立ち、それに新しい回答も加えられると尚更良い。

平成9年度 短期大学図書館全国研修会アンケート集計

日時：平成9年11月21日(金)

回答枚数：66枚(参加者数77名・回収率86%)

1. あなたの図書館はどの地区に属しますか

北海道地区……………3名	東北地区……………1名	心理学・民俗学ともに生活に密接しているので勉強になった…2名
関東甲信越地区…11名	東海・北陸地区……10名	改めて指導サービスの必要性を感じることができた
近畿地区……………32名	中国・四国地区……5名	自分の得意分野でないのでとても参考になった
九州地区……………4名		その他
2. 図書館での経験年数

1年未満……6名	1～3年……22名	5. 講義について
4～5年……10名	6～10年……8名	満足……………41名
11～15年……7名	16～20年……10名	やや満足……20名
21年以上……3名		普通……………3名
		やや不満足…1名
		不満足…………0名
		無回答…………1名
3. あなたの当研修会参加回数

初めて……………49名	2回目……………12名	どの先生の話もとても聞きやすく、参考になった……………10名
3回目……………4名	4回目……………0名	これからの仕事にすごく役立つと思った
5回目以上…1名		その他
4. 今回の研修会のテーマについて

満足……………49名	やや満足……13名	6. 演習について
普通……………2名	やや不満足…1名	1)全体について
不満足…………0名	無回答…………1名	満足……………35名
		やや満足……17名
		普通……………12名
		やや不満足…0名

不満足……0名 無回答……2名
 ・ハードだけど楽しく、楽しみにしている研修会。
 期待に違わなかった
 ・自館になくて、役に立ちそうな参考図書を知ることができて良かった
 ・その他

2) 時間について *複数回答あり

長い……0名 適当……52名
 短い……12名 無回答……3名
 ・実習時間がもう少しあれば良かった……11名
 ・長くも短くもなくちょうど良かった……4名
 ・その他

3) 参考図書等の資料の数は

〔心理学〕

〔民俗学〕

多い……1名 多い……1名
 適当……45名 適当……53名
 少ない……16名 少ない……6名
 無回答……4名 無回答……6名
 ・1グループに1セット欲しかった……4名
 ・CD-ROM資料が用意してあるのが良かった
 ・一般的な辞典も用意して欲しかった
 ・その他

7. 今後の研修会に望むこと

1) テーマについて

・社会福祉……4名
 ・電子情報・コンピュータ関係……3名
 ・法学……2名 ・国際関係……2名
 ・教育……2名 ・音楽……2名
 ・幼児教育・保育関係……2名
 ・過去に行ったテーマについても再度お願いしたい
 ・その他

2) 講師について

・採用されたテーマに関する専門家……4名
 ・できれば図書館員……3名
 ・教員と図書館員との組合せ……2名
 ・やさしくおもしろく語ってくれる人……2名
 ・その他

3) 開催時期や開催地、その他について

〔開催時期〕

・この時期が良い……5名・11月は忙しい……5名
 ・9～10月頃 ・夏季・冬季期の長期休暇中
 ・特になし

〔開催地〕

・全国各地で開催するのが良い……10名
 ・近畿が良い……6名

・東京が良い……3名
 ・東京と大阪を交替で……2名
 ・その他

8. 全体についての感想

1) 今回近畿地区で開催したことについて

・良かった……34名
 ・いろいろな地区で開催するのはいいことだ……3名
 ・近畿地区ならではの話が聞けておもしろかった
 ・次回は関東地区で開催して欲しい
 ・その他

2) 研修会の運営方法について

・良かった……5名
 ・特になし……3名
 ・大変良かった
 ・申し込みのときに確認の一報があれば助かる
 ・その他

3) その他

・感謝の言葉……19名
 ・演習会場に不満(暗かった)……5名
 ・回答者は従来通り前もって指名した方が良い……3名
 ・昼食が用意されていたので良かった……2名
 ・図書館で行なうのが良いと思う(夏休みなどを利用して)……2名
 ・もう少し人と人との交流が欲しかった
 ・その他

平成9年度 全国研修会に参加して

北星学園女子短期大学附属図書館
 横田 詔子

11月20日～21日の2日間、「ホテルアウィーナ大阪」において今年度の短期大学図書館全国研修会が開かれ、参加させていただきました。実は私事ですが、図書館に勤務することになったのが今年の4月からですので、このような図書館関係の研修会に参加させていただくのももちろんはじめてのことです。ベテランの方たちに負けないように一生懸命勉強してたくさん吸収して帰ろう、という気持ちとうらはらに、内心とても不安な気持ちで受け付けの前に立ちました。でも、役員の皆様のあたたかい対応や、同じ北海道から参加された方たちにも早速声をかけていただきそのような不安もすぐに吹き飛んでしまいました。

研修会のメインテーマは、例年どおり「参考業務と書誌」で、そしてそのなかでも特に今年は、「心理学/民俗学」に的を絞って講演、講義が行われました。

大阪女学院短期大学の丸本郁子先生による『情報インストラクターを目指して～新しい司書職の専門性「指導サービス」の創造』と題された講演では、「指導サービス」必要性の背景並びに重要性について述べられ、「人は、自分の生活を向上させるための情報を必要としている。図書館員は情報の専門家であることをもっとアピールし、指導サービスを公式の業務としよう」と訴えられました。1日目午後には、園田学園女子大学短期大学部の中西龍一先生による「心理学」、そして、神戸山手女子短期大学図書館の津田雄作先生による「民俗学」の講義をいただきました。学問的なお話もとても興味深く、また、実際にレファレンスをする場合に大変参考になる内容がもりだくさんで大変勉強になりました。

2日目の演習では、グループごとに分かれて、与えられた課題を書誌や参考図書を使って調べ、代表者が発表し、評価を受けます。私たちのグループでは、2つの課題につき2人の担当を決め取り組みました。2グループで同時に書誌を使うため、まるで運動会のような楽しさ（早い者勝ち?）も手伝い、規定の時間はあっというまに過ぎてしまいました。発表や評価を聞いて、なるほど!と思うことが多々あり、書誌や参考図書の大切さと必要性を再認識し、学ぶところが多い時間でした。

最後になりましたが、講師の先生方と役員の皆様から感謝申し上げます。ありがとうございました。

「研修会に参加して」

跡見学園女子大学図書館

加藤 宏子

今回の研修会では、いつもとは違った見方をさせてくれるたくさんの方のヒントを講義、演習、そして出会いを通して得ることができた。

まず、心理学の講義では体系的に考えることを学んだ。「心理学」とひと口に言って教育学、その分野は多岐にわたり、さらには社会学や教育学、そして心理学とは一見関係のないように思われる生理学や文化人類学とも関連している。例えば「いじめ」について知りたいとする。まず始めに教育心理学?と考えてしまうが、いじめの構造であれば社会学に入ることもあるし、心の治療となれば臨床心理学となるのだ。当たり前のことだがなかなか気がつきにくい点だ。

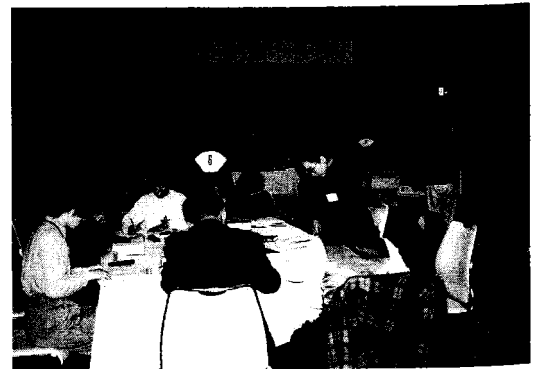
日頃カウンターで学生と向かい合う時、質問ばかりに気がいってしまい、それだけに執着して答えをだそうとしてしまう傾向が私にはあった。しかし実際には、利用者は間接的に質問をしてもらうこともあれば、その質問の背景が回答の手が掛かりになっていることもある。質問を

広く捉える、そんな回答への“寄り道”を学んだように思う。

また、短大職員の方々との出会いもとても刺激になった。今回、講演で丸本教授は、教育は知識の蓄積から、知識を生かして問題を解決する力を養う方向へと変わりつつあると述べていた。そのような“学び方を学ぶ場”として図書館は活躍できるといい、そこに学内における図書館の重要性と発展の可能性を感じた。

しかし話を聞くと、短大図書館は職員数が1、2名といった小規模のところが多く、そのために業務を縮小せざるを得ない状況であるようだ。図書館におけるサービスの充実には各機関での努力によるものだが、図書館というものが組織の中で重要であると認識され、それに見合う環境が整うようになるには図書館同志の横のつながりも非常に重要であると感じた。

日頃から思うことだが、学生が学校を決める際、考慮するのは自分が学ぼうとする学科についてであってその大小ではない。そして、図書館についてはほとんど考慮しないであろう。しかし、入学した大学や図書館の規模によって教育というサービスの内容に差が出るようなことはしたくない。この研修会を通して、参考業務の実務的な面を学べただけでなく図書館の一つの方向性を学べたことは、本当に有意義であった。



地区活動報告

【北海道地区】

1. テストケース研究部会第2回ワークショップ

日時：平成9年7月5日（土） 18:00～21:00

会場：札幌市東区民センター

参加者：5名

概要

部会メンバー各自に課題とされた、①「パスファインダーの作成」②「新入生図書館オリエンテーションの工夫とその評価」の成果を8月の研修会で発表することにした。発表箇所の分担、発表内容の要点を確認しあった。

2. 1997年度研修会

日時：平成9年8月22日（金）・23日（土）

会場：北星学園女子短期大学（22日）

北海道武蔵女子短期大学（23日）

概要

一日目（22日）13:00～18:15 参加者：20名

①テストケース研究部会活動報告（13:15～14:00）

「パスファインダー」作成の要点、新入生図書館オリエンテーションの実状と工夫、この2点を柱に、一人5～8分の持ち時間で発表がおこなわれた。

②レファレンス・マラソン（14:10～17:30）

レファレンス質問を回答する実技を通して代表的情報源の特徴と使い方を確認する研修を行った。2人1組のグループ演習。7つのチェック・ポイントを通過しながら、最終的に14の質問を処理する。回答の正確さと時間を競った。ほとんどのグループが予定時間内にすべての設問を終了する、好結果であった。

③臨時総会（17:45～18:15）

テストケース研究部会の活動報告及び会計報告を受けて**研究部会の正式発足について審議の結果、承認される。**続いて安藤友晴氏（稚内北星学園短期大学）より新テーマ「インターネットと利用者サービス」の活動計画が紹介され、承認された。直ちに参加者の募集にはいることが確認された。

二日目（23日）9:30～13:15

参加者：26名

①インターネット入門～広がる情報源

北海道武蔵女子短期大学・情報処理室を使用し、インターネットの体験学習をおこなった。

講師：安藤友晴氏（稚内北星学園短期大学図書館）

協力：小松隆行氏（北海道武蔵女子短期大学・助教授）

協力：大澤広樹氏（稚内北星学園短期大学副手）

はじめてコンピュータに触る人のために、「インターネットとは？」の説明に始まり、実際にWWWブラウザを使って各種のホームページを見た。図書館関係のリンク集についても学習。サーチエンジンを利用してWWWから情報を採り出す演習もおこなった。その他、参加者同志による電子メールのやり取りも体験。予定時間を大幅に越える熱のこもった研修となった。

【東北地区】

1. 平成9年度総会

日時：平成9年10月3日（金）

13:00～14:00

会場：仙台ガーデンパレス

出席者数：14館21名（委任状6館）

議題：①平成8年度活動報告

②平成8年度決算報告及び監査報告

③平成9年度活動方針及び予算審議

④平成9年度全国理事会及び創立20周年記念行事報告

⑤その他

①②は報告通り、③は原案通り承認された。

2. 平成9年度研修会

総会に引き続き研修会を行った（14:15～16:30）。今年度は「短大図書館の課題と対策」というテーマで、各館が共通に抱えている問題と思われるものなかから、①利用状況、②利用者教育、③廃棄図書、④マンガ本の購入、⑤寄贈図書の扱い、の5つを取り上げ、情報交換、協議を行った。②は、学生のマナー向上、③は廃棄の基準、教員側からの資料保存要求と館の収納スペースの問題、④は選定基準の問題、⑤は特定の宗教や政治思想に基づくと思われる図書の扱い、登録・保存すべき図書の判断、が特に話題となった。

【関東・甲信越地区】

〈幹事会〉

第2会 1997年6月24日 14:00～17:00

（目白学園総合図書館）

○総会及び平成9年度第1回研修会の反省

金城学院大学図書館 鈴木卓美氏

○平成9年度第2回研修会について

〈研修会〉

[平成9年度第2回研修会]

1997年8月1日 15:00~17:00

研修会打ち合わせ(紀伊國屋書店セミナールーム)

1997年9月19日 10:00~16:00

研修会実施

場 所: 紀伊國屋書店セミナールーム

内 容: CD-ROMセミナー

参 加: 28館(34名)

資料のみ送付 10館

〈その他〉

1998年1月 加盟館・館員名簿発行

【東海・北陸地区】

1. 平成9年度第3回幹事会

日 時: 平成9年7月25日(金) 13:00~15:00

場 所: 市邨学園短期大学

出席者: 9館14名

議 題: (1)平成9年度総大会の総括について
(2)平成9年度研修会の実施要項について
(3)研修・会報委員会
(4)その他

2. 平成9年度情報交換・研修会

日 時: 平成9年10月8日(水) 16:30~19:00

場 所: 同發(研修会の前日開催)

出席者: 14校22名

3. 平成9年度研修会

日 時: 平成9年10月9日(木) 10:00~15:30

場 所: 市邨学園短期大学

出席者: 27校39名

テーマ: 図書館内の機械化をめぐる

(1) 開 会

会長挨拶: 市邨学園短期大学図書館長 田中 収氏

(2) 事例報告

1: 「利用者にわかりやすいシステムをめざして」

—図書館機械化の変遷と学内LAN—

東邦学園短期大学図書館 森下恵子氏

2: 「図書館システムILIS/X70の導入と問題点」

愛知淑徳短期大学附属図書館 杉山麻里氏

(3) 講 演 「東海地区機械化委員会活動報告」

(4) 閉 会

会長挨拶: 市邨学園短期大学図書館長 田中 収氏

4. 平成9年度第4回幹事会

日 時: 平成9年12月11日(木) 12:00~14:00

場 所: 市邨学園短期大学

出席者: 8館15名

議 題: (1)平成9年度研修会の総括について
(2)平成9年度会報29号について
(3)平成10年度総大会について
(4)その他

【近畿地区】

〈全国研修会準備委員会〉

第6回 1997年7月10日(木) 13:30~17:00

第7回 1997年9月4日(木) 13:30~17:00

第8回 1997年10月23日(木) 13:30~17:00

第9回 1997年11月11日(火) 13:30~17:00

〈研修会〉

第2回

日 時: 1997年7月3日(木) 14:00~16:30

場 所: 大阪市立大学学術情報総合センター

参加者: 42館68名

テーマ: 大阪市立大学学術情報総合センター見学

日本有数の規模を誇る附属図書館と計算センターを統合した「図書と情報の館」であり、学内諸施設とネットワークする学内LANを基軸に国内外の学術機関とインターネットを結ぶ創造性豊かな学習と研究の場でもある最先端情報拠点として、1996年10月にオープンした学術情報総合センターの見学をした。

〈全国研修会〉前掲のとおり詳細省略

【中国・四国地区】

機関紙「私短図中・四国協ニュース」第12号の発行

発 行: 平成9年9月24日

担 当: 徳山女子短期大学図書館

内 容: 平成9年度総会・研修会(8/7~8/8)の内容を特集

【九州地区】

1. 幹事会を開催

平成9年度九州地区私立短期大学図書館協議会幹事会

日時：平成9年10月22日（水）午前11時～

場所：中九州短期大学会議室

内容：

①平成10年度九州地区私立短期大学図書館協議会および研修会の研究発表者推薦依頼について

②各役割の再検討ならびに、次期幹事館の推薦依頼について

③アンケート中間報告について

④その他

ニューズレター発行

参加者；北九州・大分ブロック幹事館より

別府女子短期大学図書館

館長 佐藤 邦夫

；福岡ブロック幹事館より

麻生福岡短期大学図書館

事務主査 小澤 照彦

；佐賀・長崎ブロック幹事館より

活水女子短期大学図書館

課長 遠山 潤

；熊本ブロック幹事館より

銀杏学園短期大学図書館

司書 山崎 栄子

；会長館 中九州短期大学図書館

館長 旭 啓之

司書 吉田 良子 以上6名

2. 機関誌「ニューズレター」NO.21発行

担当館：銀杏学園短期大学図書館

◆「短大図書館電算化状況について」

九州帝京短期大学図書館 高口 優司

◆「平成9年度九州地区私立短期大学図書館協議会研修会発表報告」

(1) コンピュータ・ネットワークとこの一年

西南女学院大学・短期大学図書館 西川 忍

(2) 図書館職員の専門性について

鹿児島純心女子短期大学図書館 川路 孝昭

3. 平成10年度総会・研修会について

期日：平成10年4月3日（木）

会場：福岡ガーデンパレス

当番館：筑紫学園大学・短期大学附属図書館

事務局報告

会報41号

1 訂正 P24「私立短期大学図書館協議会20年小史」

1996.5.16は発行日 1997.5.16に訂正

2 P11 来賓祝辞 私立大学図書館協会会長は前私立大学図書館協会会長代理（慶応義塾大学メディアネット事務長） 斎藤 勉氏
公立短期大学図書館協議会会長

寺本喜徳氏代読

○会勢 平成10年1月24日現在

北海道地区 20

東北地区 23

関東甲信越地区 106

東海北陸地区 46

近畿地区 76

中四国地区 30

九州地区 41

合計 342館

○新規加盟館紹介

関東甲信越地区

東京工芸大学女子短期大学図書館

埼玉医科大学附属図書館短期大学分室

九州地区

九州帝京短期大学図書館

長崎短期大学図書館

役員会記録

○平成9年度 第3回

期日 平成9年9月26日（金）午後2:00-

場所 跡見学園女子大学短期大学部図書館

議題 報告事項

1 会務報告

2 その他

協議事項

1 「短期大学図書館研究」第17号発行報告

2 「短期大学図書館研究」18号の発行

3 会報41号発行報告・42号編集の件

4 平成9年度全国研修会（関西地区主催）について 本部出席者・協力事項・その他

5 次年度本部体制について

6 その他

○平成9年度第4回

期日 平成9年10月27日（月）午後3:00-

場所 文化女子大学図書館

議題 報告事項

1 会務報告

2 その他

協議事項

- 1 「短期大学図書館研究」第18号の編集について
- 2 平成9年度全国研修会（関西地区主催）について書誌の協力等
- 3 本部運営体制（会長・本部役員の選出）について
- 4 その他

○平成9年度第5回

期 日 平成9年11月28日（金）午後5：30-

場 所 新宿 談話室「滝沢」

- 議 題 1 本部体制について
会長交代・役員任期交代、本部の事業の分散体制など
- 2 その他

○平成9年度第6回

期 日 平成10年1月24-25日

場 所 伊豆 白浜ホテル伊豆急

- 議 題 1 会務報告
- 2 その他 会報42号の件

- 協議事項 1 本部役員会規程について（関連事項について）
- 2 平成10年度事業計画
- 1) 「短期大学図書館研究」第18号
 - 2) 会報42号
 - 3) 理事会・総会の日程
 - 4) 全国研修会開催の件
- 3 その他

資料 創立20年を振り返って

私立短期大学図書館協議会の設立について

戦後、学制刷新の中で暫定措置として発足した短期大学は、その後恒久化さらに新設置基準の制定と、既に四半世紀を経て高等教育機関の中に定着しました。しかし短大図書館をとりまく現状は「図書館77」でも明らかのように、予算・人員・施設設備等どれを見ても質量ともに依然として厳しいものがあり、その発展充実は遅々として進まずというところが大方の実状であります。

こうした短大図書館の諸問題を解決し、さらに発展と充実を遂げるためには全国の短期大学図書館同志が積極的にネットワークを組み、一致協力して相互連絡、情報交換、継続的な研究活動等の推進を図り、共通課題の解決はもとより個々の短大図書館の問題であっても相互に理解協力する必要性を痛感いたします。

現在、図書館界においては各館種ごとに館単位の全国

組織が既に結成され成果にみるべきものがありますが、独り私立短期大学図書館界のみ図書館単位の全国組織が結成されませんでした。そこで昨年秋ご案内申し上げ開催しました、日本図書館協会全国大会での私立短期大学図書館総会において、私立短期大学図書館の全国組織化を提案いたしましたところ、満場一致の賛成で私立短期大学図書館協議会結成が可決されました。早速決議にもとづきその後鋭意設立準備を進めてまいりましたが、去る5月27日の発起人会において規約その他についての合意をみました。

ここに私立短期大学図書館協議会の設立をお知らせするとともに、以上の趣旨のもとに、貴短大図書館におかれましても私立短期大学協議会に加盟を表明されますようご案内申し上げます。なお、私立短期大学協議会第1回総会は日本図書館協会の昭和52年度全国大会短大部会開催時に合わせて開かれる予定になっております。後日改めてご案内申し上げますが多数ご出席くださいますことを期待しております。 昭和52年6月20日

私立短期大学図書館協議会設立発起人会（ABC順）

- 安部 豊巳（東京女子大学短期大学部図書館）
- 片山 喜八郎（国学院大学栃木短期大学図書館）
- 川崎 文策（鈴峰女子短期大学図書館）
- 前川 和子（大谷女子大学短期大学図書館）
- 間宮 照子（市邨学園短期大学図書館）
- 宮城 清（仙台北百合短期大学図書館）
- もり・きよし（青葉学園短期大学図書館）
- 村上 博子（西南女学院短期大学図書館）
- 岡野 盛繁（東横学園女子短期大学図書館）
- 坂本 龍三（北海道武蔵女子短期大学図書館）
- 芝原 翠（東洋英和女学院短期大学図書館）
- 柴田 さち子（立教女学院短期大学図書館）
- 菅原 春雄（文教大学女子短期大学図書館）
- 杉浦 充（産業能率短期大学図書館）

編集後記

前回41号は本協議会創立20周年記念特集号でした。如何でしたか。10周年のことは書いていない、表彰基準はどうなっているのか等等ありました。20年の節目とともに、これからの本協議会運営をどうするか、会長、役員の人選問題と難題を抱えているのが現状です。8Pに参考資料として本協議会発足当初の資料掲載いたしました。 すがわら